

1つの身体と1台のピアノ。
運命が拮抗する、その先へ。

運命

動

ベートーヴェン交響曲
交響曲第5番
『運命』全楽章を踊る

出演

ダンス **森下真樹** ピアノ 今西泰彦

振付家
第一楽章
MIKIKO
森山未来
第二楽章
石川直樹
第三楽章
笠井叡
第四楽章
音楽監督
海老原光

6.22^{FRI}~24^{SUN}
スパイラルホール

ベートーヴェン交響曲

第5番『運命』全楽章を踊る

～1つの身体と1台のピアノ。運命が拮抗する、その先へ。～

1918年6月、徳島の坂東俘虜収容所で、収容されたドイツ人捕虜により日本で初めてベートーヴェンの交響曲が演奏された。100年の歳月を経たいま、誰の心にも強烈な印象を放つ交響曲第5番「運命」を、一人のダンサーの身体を透し、時代を牽引する4人の振付家が描き出す。海老原光を音楽監督に迎え、今西泰彦のピアノと森下真樹の身体が対峙するとき、運命が、動く。



第一楽章振付
MIKIKO (演出振付家)

曲から感じる強烈な力と抑揚を、真樹さん自身の人生のストーリーに乗せられたらと思っています。

ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」主宰。Perfume、BABYMETALの振付・ライブ演出をはじめ、様々なMV・CM・舞台などの振付を行う。メディアアートのシーンでも国内外で評価が高く、新しいテクノロジーをエンターテインメントに昇華させる技術を持つ演出家として、ジャンルを超えた様々なクリエイターとのコラボレーションを行っている。



第二楽章振付
森山未来 (俳優・ダンサー)

僕が妄想する「森下真樹」像を彼女自身がデフォルメして、さらに楽曲がアンプリファイ(拡大)するという、面白いことが起こっている。

1984年8月20日生まれ。兵庫県出身。映画、舞台、TVドラマ等、さまざまなフィールドでキャリアを積み、13年秋より文化庁文化交流使として1年間イスラエルに滞在。インマリ・ピント & アヴシャロム・ポラックダンスカンパニーを拠点にヨーロッパ諸国にて活動。近年ではダンスパフォーマンス作品にも積極的に参加しており、演劇、ダンスなどのカテゴリーに縛られない活躍をみせている。



第三楽章振付
石川直樹 (写真家)

本当の体験をしないと意味がない。運命を背負うわけなんだから。

1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科修士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心をもち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。「NEW DIMENSION」(赤毛舎)、「POLARIS」(ワニブキ)により、日本写真協会新人賞 講談社出版文化賞、「CORONA」(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に『開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険』(集英社)ほか多数。ヒマラヤの8000m峰に焦点をあてた写真集シリーズを5冊連続刊行。



第四楽章振付
笠井 毅 (舞踏家・振付家)

ただ明るいままでは終わらない。昇りつめるような明るさの先には、神女の悦びや苦悶があるような気がする。

1960年代に若くして土方巽、大野一雄と親交を築き、東京を中心に数多くのソロ舞踏公演を行う。70年代末に主宰し、多くの舞踏家を育成。79年から85年ドイツ留学。ルドルフ・シュタイナーの人間学、オイリュトミーを研究。帰国後、15年間舞踏界から遠ざかるも「セラフィータ」にて舞台復帰。数多くの作品を国内外で発表。代表作「花の革命」でのワールドツアーのほか、ベルリン、ローマ、ニューヨークでも作品を制作。



音楽監督
海老原光 (指揮者)

音楽以外のものと関わった時に、初めて音楽の意味が見えてくる。音楽の生命力が際立ってくる。

1974年鹿児島県生まれ。鹿児島ラ・サール中学校、高等学校、東京芸術大学を卒業。同大学院修了。その後ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積み、2007年プロ・フォン・マツチ指揮者コンクールで第3位入賞。2010年から2015年9月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アシエイト・コンダクターを務める。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュ、クリウス・カールマー、ベシュコ・リルタン各氏に師事。これまでに国内オーケストラと共演を重ねている。



ダンス 森下真樹

幼少期に転校先の友達作りで開発された遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上でソロ作品を上演。演劇、音楽、美術、漫画等とコラボ、ジャンルを横断。現代美術家 東宇との代表作『錯からでた実』は第8回日本ダンスフォーラム賞を受賞。100人100歳をモットーに幅広い世代へ向けたワークショップや作品づくりを行う。実験的な場を求めカンパニー「森下スタンド」を発足。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不可能、奇想天外ワールドが特徴。



ピアノ 今西泰彦

静岡県浜松市出身。東京芸術大学卒、同大学院ピアノ科修了。渡欧後、イモラ国際ピアノアカデミー、パリ、ミュンヘン国立音楽・演劇大学古楽科で古楽奏法の研鑽を積み、これまでにソリスト・室内楽奏者として国内外各地でリサイタルを行い、イタリア・メディアセットでの中継、新聞、ラジオ、テレビ番組出演、フジテレビ「HERO THE TV」(2015)、映画「四月は君の嘘」(2016)、TBS「ごめん、愛してる」(2017)等、撮影協力を行う。2017年全日本ピアノ指導者協会新人指導者賞受賞。

2018年6月22日(金)～24日(日)

*受付:開演の80分前 開場:開演の30分前

スパイラルホール (東京・青山)

チケット好評発売中

前売 5,500円 当日 6,000円 (全席指定) ※未就学児入場不可

※未就学児童のご入場はご遠慮いただいております。
※A席～J列はステージに近いフラットなお席になります。
※K列～P列は階段状のお席です。

※車椅子スペースには限りがございます。車椅子でご観劇のお客様は、座席指定後、ご購入の上、お早めに unmei.spiral@gmail.com までお問い合わせ下さい。
※営利目的でのチケットの購入、並びに転売は固くお断り致します。

<チケット取扱い>

MIINA-TO (ミナト) 東京都港区南青山 5-6-23 (スパイラル 1F)
営業時間 11:00-20:00 TEL: 03-3498-4015 <http://www.spiral.co.jp>
※MIINA-TOでは、店頭販売のみのお取り扱いとなります

Confetti (カンフェティ) http://confetti-web.com/dance_unmei
電話予約: 0120-240-540 (平日 10:00～18:00)

チケットぴあ 0570-02-9999<Pコード: 486-513>
<http://w.pia.jp/t/dance-unmei>

イープラス <http://eplus.jp>



地下鉄表参道駅(銀座線・千代田線・半蔵門線) ■B1/B3(エレベーター有)出口
Omote-sando Sta. (Ginza-line, Chiyoda-line, Hanzomon-line) B1/B3 Exit
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル 3F
※スパイラルの地下に有料駐車場(営業時間 8:00-23:00)がございますが、駐車台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

STAFF
照明: 三浦あさ子、音響: 大久保歩、衣裳: 萩野緑、舞台監督: 浜村修司 宣伝写真: bozza、宣伝美術: れもんらいふ、WEBサイト: おいみんてーず 制作協力: 村松重、坂田謙平 企画構成: 森下真樹
主催: 株式会社ワコールアートセンター・森下企画 協力: 河合楽器 企画制作: スパイラル・森下企画
お問い合わせ: unmei.spiral@gmail.com